

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 2 年 12 月 23 日

計画の名称	緑豊かで魅力にあふれ、安全・安心な都市公園づくり		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度 (5年間)	交付対象	新潟市
計画の目標			

- ・新潟市みどりの基本計画に基づき、多様な市民ニーズに対応した公園施設整備を推進し、公園利用の促進を図る。
- ・積極的な公共施設の緑化（グリーンインフラ）を通じて、温室効果ガスの吸収源対策を推進する。
- ・公園施設長寿命化計画に基づく適正な維持管理の実施により公園利用者の安全・安心を確保する。
- ・新潟市立地適正化計画に基づき、人口減少や超高齢化社会への対応として、地域福祉や子育て支援に寄与する魅力ある都市公園の創出を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

- 1 新潟市全域の都市公園面積(新潟市管理の公園)について、一人当たり8.5㎡/人(H28年度当初)から8.8㎡/人(R2年度末)に増大させる。
- 2 供用開始年度の休日公園利用者数について、赤塚公園で500人/日、寺山公園で1,400人/日を達成する。
- 3 やすらぎ堤緑地等において温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備等を行い、通常の公園整備による緑地とは別に温室効果ガス吸収源対策に資する緑地をR2年度末までに10,762㎡増加させ、高木を植栽することで3.8t/年のCO2吸収を行う。
- 4 都市公園(新潟市管理の公園)におけるトイレのバリアフリー化率を50%(H28年度当初)から58%(R2年度末)に増大させる。
- 5 新潟市が管理している都市公園において、公園施設長寿命化計画に基づく優先的に改築が必要な都市公園施設に対して改築を実施し、改築完了率を0%(H28年度当初)から50%(R2年度末)に増大させる。
- 6 公園の管理状況に対して「よく管理されている」と評価する利用者の割合を43%(H28年度当初)から45%(R2年度末)に増大させる。
- 7 本計画において、地域ニーズに対応した施設の適正化及び機能再編を行う都市公園の整備率を0%(H30)から25%(R2)に増大させる。

定量的指標の定義及び算定式

- 一人あたりの都市公園面積（都市公園の統計データ(新潟市管理の公園)を基に算出する。）
(新潟市が管理する都市公園面積)/(都市計画区域内人口)
- 供用開始年度の休日公園利用者数
赤塚公園：平成29年度供用開始
寺山公園：平成30年度供用開始
- 温室効果ガス吸収源対策に資する緑地増加面積（吸収源対策公園緑地事業により増加する緑地面積）
(整備面積)×(吸収源対策緑化率80%－新潟市公共施設緑化ガイドライン緑化率30%)
- CO2吸収量
(高木植栽本数)×(吸収係数 0.0385t-CO2/本・年)
- 都市公園におけるトイレのバリアフリー化率
(バリアフリー化したトイレを有する都市公園数)/(トイレを有する都市公園数)
- 早期に改築が必要な都市公園施設の改築完了率
(改築を実施した都市公園施設数)/(H28年度当初に改築が必要であった都市公園施設数)
- 公園の管理の状況に対して「よく管理されている」と評価する利用者の割合
(「よく管理されている」とする回答者数)/(アンケート調査回答者数)
- 本計画において、地域ニーズに対応した施設の適正化及び機能再編を行った都市公園の整備率
(整備済み都市公園数)/(機能再編対象都市公園数)

定量的指標の現況値及び目標値

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
(H28当初)	(H30末)	(R2末)	・新潟市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A-1, A-2, A-3, A-6	
8.5㎡/人	8.7㎡/人	8.8㎡/人		
(H28当初)	—	供用開始年度		
0人日		赤塚：500人/日		
0人日		寺山：1,400人/日		
(H28当初)	—	(R2末)		
9,390㎡		10,762㎡		
(H28当初)	—	(R2末)		
3.7t/年		3.8t/年		
(H28当初)	—	(R2末)		
50.0%		58.0%		
(H28当初)	(H30末)	(R2末)		
0.0%	20.0%	50.0%		
(H28当初)	(H30末)	(R2末)		
43.0%	44.0%	45.0%		
(H30当初)	—	(R2末)		
0.0%		25.0%		

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,246 百万円	A	4,202 百万円	B	0 百万円	C	44 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	1.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	--------	-------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
・新潟市大規模建設事業評価制度を活用して評価を行う。	・令和2年度
	公表の方法
	・新潟市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業				直接 間接	事業者	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H28 H29 H30 R1 R2						
A-1	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	都市公園事業(赤塚公園)	施設整備 A=23.0ha	新潟市						1,292	
A-2	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	都市公園事業(寺山公園)	施設整備 A=4.6ha	新潟市						1,041	
A-3	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	新潟市緑地環境事業	吸収源対策(やすらぎ堤緑地等2箇所における植栽、園路広場の整備等)	新潟市						94	
A-4	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	新潟市都市公園安全・安心対策事業	公園施設長寿命化計画策定調査	新潟市						1,476	37
	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	新潟市都市公園安全・安心対策事業	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(都市公園のバリアフリー化等)	新潟市							375
	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	新潟市都市公園安全・安心対策事業	公園施設長寿命化対策支援事業(都市公園における遊戯施設等の改築)	新潟市							1,064
A-5	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	新潟市都市公園ストック再編事業	都市公園の機能の再編(子育て支援等)	新潟市						239	
A-6	公園	一般	新潟市	直接	新潟市	新潟市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業	吸収源対策(やすらぎ堤緑地等2箇所における植栽、園路広場の整備等)	新潟市						60	
合計													4,202		

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体						H28 H29 H30 R1 R2						
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
-															

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体						H28 H29 H30 R1 R2						
C-1	施設整備	一般	新潟市	直接	新潟市	都市公園事業(赤塚公園) 関連施設整備事業	案内板設置	新潟市						4	
C-2	施設整備	一般	新潟市	直接	新潟市	都市公園事業(寺山公園) 関連施設整備事業	アクセス道路整備、案内板設置	新潟市						40	
合計													44		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C-1	基幹事業(A-1)と一体的に案内板を設置し、公園の利用を促進する。														
C-2	基幹事業(A-2)と一体的に公園へのアクセス道路及び案内板を設置し、公園の利用を促進する。														

その他関連する事業

計画等の名称															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業者	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23 H24 H25 H26 H27						
合計															

合計 (A' + B' + C')	0 百万円	A'	0 百万円	B'	0 百万円	C'	0 百万円	効果促進事業費の割合 $C + C' / (A + A') + (B + B') + (C + C')$					1.0%
----------------------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	---	--	--	--	--	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・新規の公園緑地の整備や既存公園の再整備により、多様な市民ニーズに対応し、多くの市民に親しまれる魅力あふれる都市公園を創出することができた。
- ・計画的に都市公園における遊戯施設等の改築やトイレのバリアフリー化を進めたことにより、公園利用者に安全安心な公園環境を提供することができた。

II 定量的指標の達成状況	指標① (一人あたりの都市公園面積)	最終目標値	8.8㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・寺山公園等の基幹事業の進捗のほか、開発等の公園面積の増加が当初想定より多かったため。 ・県内でも珍しい、ふわふわドームといった魅力ある遊具を整備したことでたくさんの来園者につながった。 ・地域のニーズ調査を踏まえ、子育て支援施設い〜てらすの整備の他、様々な世代が利用できる広場の整備などにより、たくさんの来園者につながった。 ・芝生等の緑化を積極的に行った結果、目標を上回ることができた。 ・高木植栽を積極的に行った結果、目標を上回ることができた。
		最終実績値	8.9㎡/人		
	指標② (供用開始年度の休日公園利用者数)	最終目標値	赤塚公園 500人/日	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	1,917人/日		
	指標② (供用開始年度の休日公園利用者数)	最終目標値	寺山公園 1,400人/日	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	2,320人/日		
	指標③-1 (温室効果ガス吸収源対策に資する緑地増加面積)	最終目標値	10,762㎡	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	11,240㎡		
	指標③-2 (CO2吸収量)	最終目標値	3.8t/年	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	5.6t/年		

	指標④ (都市公園におけるトイレのバリアフリー化率)	最終目標値	58%	目標値と実績値 に差が出た要因	・既存公園のバリアフリー化を推進したほか、新規設置の際にもバリアフリー対応のトイレを設置することにより、目標を上回ることができた。
		最終実績値	61%		
	指標⑤ (早期に改築が必要な都市公園施設の改築完了率)	最終目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因	・国の補正予算等の活用により、目標以上に施設の改築を進めることができた。
		最終実績値	55%		
	指標⑥ (公園の管理の状況に対して「よく管理されている」と評価する利用者の割合)	最終目標値	45%	目標値と実績値 に差が出た要因	・公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持管理を実施したほか、地域の要望に対する区役所のきめ細かな対応等の取組が、高い評価につながった。
		最終実績値	47%		
	指標⑦ (本計画において、地域ニーズに対応した施設の適正化及び機能再編を行った都市公園の整備率)	最終目標値	25%	目標値と実績値 に差が出た要因	・地域ニーズを積極的に取り入れながら、再編内容の検討を進めたことで、スムーズに整備に着手できた。
		最終実績値	100%		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

R2年度に行った市民をアンケート結果では、都市の緑のうち「公園の緑」が増えていると感じている人が多く、寺山公園や赤塚公園の供用の他、開発等による都市公園の増加が市民の評価につながったと考えられる。
また、公園の機能として、「高齢者や子供達の安全な休息や遊び場」を求める人が多いほか、緑の機能として、「二酸化炭素削減など地球環境の改善」が重要と感じている人が多いことから、市民ニーズに応じた事業を実施できていると考えられる。

3. 特記事項 (今後の方針等)

- ①魅力あふれる都市公園を提供するため、引き続き赤塚公園等の公園緑地の整備を進めるとともに、地域のニーズに対応した都市公園の再整備を進める。
- ②公園利用者が安全安心に利用できるよう、引き続き遊戯施設等の公園施設の計画的な維持管理に努める。